

松本市広報R7-11

●問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153

●編集 公民館報編集委員会

●印刷 株式会社プルルト

公民館報

発行
2025

9/30

まつもと



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 75

帰る道を照らす明かり

ご先祖さまが迷わず帰れるよう
送り盆には光で道を作って見送る

(撮影 2025.8.16 梓川地区丸田町会)

利用も好調、New 村井駅!!

令和4年から工事が進められていた村井駅 3階建ての新駅舎完成から約1年が経過

同駅は明治35（1902）年12月15日、松本～塩尻間の鉄道開通と同時に、唯一の途中駅として開業した歴史のある駅です。以前から多くの通勤学客が村井駅を利用し、1日当たりの乗降者数は4,258人（令和5年度）。市内では松本駅に次いで多く、近年その数が増加しています。高校の移転開設やまつもと医療センターの増床、芳川地区の宅地開発などにより、今後さらに駅利用者の増加が見込まれています。

地域に根ざした施設を模索

松本市は村井駅を南部地域の交通拠点と位置付け、平成19年度から駅周辺整備事業を進めています。周辺地域の関係者との勉強会や地元説明会が重ねられ、駅舎デザイン・公共スペースの活用方法など、アンケートも並行して行われました。

今回の建て替えでは、東西を繋ぐ自由通路が設置され、

エレベーターは自転車を押しでの乗降も可能となりました。大正11（1922）年改築の旧駅舎では、利用者は駅の約150m北か約340m南の踏切を渡る必要がありました。どちらも道幅が狭く通行が危険なため、改善を求める意見が寄せられていました。

複合施設化

新駅舎は駅機能に加え、1階と2階に待合・学習スペースが設置されました。さらに、2階には図書館サービスポイントも併設。曜日により利用時間は変わりますが、貸出しと返却が可能となりました。

今後は東口と西口に、それぞれロータリーと駐輪場が整



村井宿のまち並みや、牛伏川階段工をイメージ

備される計画です。さらに、南北踏切までのアクセス道路が一部拡幅され、令和9年度末にはすべての工事が完成予定です。



夏休みも、駅で勉強（令和7年8月20日撮影）

今後の駅利用に期待

駅利用者の横山真司さんは「図書返却コーナーが、読書好きの私に駅との新たな縁をくれました」と話します。また松本市都市計画課の御子柴課長補佐は「多目的スペースは、普段電車に乗らない方も利用いただける施設として整備しました。多くの方の居場所となるような施設になってほしい」とのことです。

村井駅周辺の整備事業は、行政と地域などが協議を重ねながら、長い年月をかけて進められてきました。今後も人口増加が見込まれる南部地域の交通拠点として、地域の利便性に配慮した駅周辺整備が期待されます。

美須々ヶ丘高校が最優秀賞

同校は今年7月の第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭）演劇部門で、高校演劇連盟に加盟する約2,000校の頂点に立ちました。県勢としては初の快挙です。

プロの審査員も絶賛

受賞作「愛を語らない」は顧問の郷原玲教諭によるオリジナル脚本で、娘が文豪の父を回想する物語です。審査員は脚本・演技・舞台美術の完成度を総合的に評価し、「後に続く高校演劇の手法となる作品」と称賛しました。



審査が終わって笑顔でパチリ

昨年3月のキャストイングから始まり、今年7月の全国大会に臨む長丁場です。8月の取材日も蒸し暑い中、よく通る声で練習を重ねていました。



全12校が参加の、かがわ総文祭

受賞より大切なもの

部長の吉沢美杜さん（3年）は「お客さまに楽しんで共感してもらいたい一心で取り組んだ。緊張もしたが、楽しむこともできた」とのことです。顧問の松崎晃教諭は「たった3年間で、生徒たちは目を見張るような成長を見せてくれる。教育者としてワクワクをもっている」と話します。

3年生は8月23・24日の新国立劇場公演で引退ですが、まさに最高の花道となりました。

視点

⑳ 信州大学 人文芸術ゼミ連

歴史に思い馳せ
踊る松本ほんぼん

令和7年8月2日(土)に、

第51回松本ほんぼんが開催され、一般の部の最優秀賞に「信大人文芸術ゼミ連」が選ばれました。

本ゼミは、今年度「芸術と模倣」をテーマとした演習を行っており、「松本ほんぼん」に焦点をあて、その歴史や社会的意義を探りながら、松本ほんぼんの音楽や踊りの「正調」を学びました。



ここが決めどころ、右斜め上!

師範に正調教わる

学生らは正調を学ぶため、松本ほんぼん実行委員会が今年創設した「師範」に踊りを習いました。指導を受けた松浦茜里さん

(3年)は、当時の体験を「振付を精緻に指導してくださり、正調を大切にすることができた」と語り、練習段階から正調で踊ることにこだわり、本番はそろいの衣装に身を包み、踊りを披露しました。

踊り学びを深める

連長の大平蒼真さん(3年)は今回の活動について、「準備や練習を通して少しずつ連としての完成していった。学生らの協力や先生、師範のご指導、大学の支援があり良い結果を得られた」と振り返ります。



「師範」とともに

単に踊りを習いコンテストに参加するだけでなく、その成り立ちや歴史を学んだことで、より一層松本ほんぼんの理解と愛着が深まったのではないのでしょうか。

写真でつづる
まつもと今昔⑥9

～街の映画館が華やいだころ～



(撮影：2004.9.25)

かつて市内には小さな映画館がいくつもあり、仕事帰りや休日には上映を楽しむ人々であふれていた。ここ東宝セントラルは洋画専門の映画館。大音量と大型スクリーンの迫力が楽しめた。しかしこういった街の映画館は、そのころから姿を消し始めた。



(撮影：2025.8.11)

暮らしの多様化とともに松本にもシネコン(同一施設に複数のスクリーンがある複合型映画館)が建設され、かつての街の映画館は姿を消した。街路樹が茂り、静かに時が流れ、現在は介護付き有料老人ホームとなっている。

旧町名碑めぐり ②

「親町三町」の真ん中の町が中町です。多種多様な商店や問屋が店を構えていました。江戸末期の犀川通船開通後は塩や魚を扱う業種も加わりました。また、明治初期にかけ、度重なる大火に見舞われ、火災に強い「なまこ壁」の蔵造りが主流となり、今も残ります。中町通りは、歴史的な景観と現代が融合する魅力的な観光地になりました。



おこひる

卒業して松本に戻ってきたときには、松本ほんぼんという新しいお祭りができていた。ノリの良い楽曲に振りをつけて、松

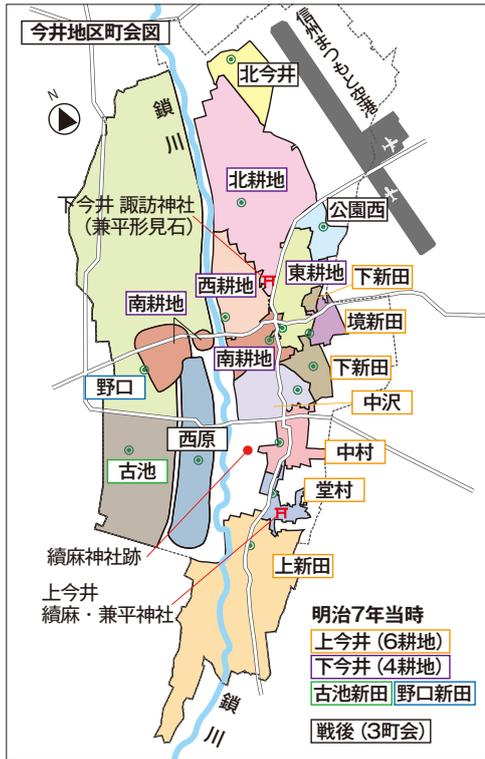
本の中心街を踊り歩くものだという▼当時は一部の商店や企業のお祭りという印象が強く、自分が参加するものとは思わなかった。けれども年月を重ねるうちに、踊りの輪はどんどん広がり、子どもや大学生や観光客まで、国籍を問わず巻き込むようになった。さらに準備や運営にも大勢の市民が関わるようになり、今ではオール松本で祭りを通じて街を元気づけている▼その積み重ねが、松本の夏を象徴する文化として、この祭りを確かなものにしてきたのだらう。あの頃はどこか他人の祭りのように思っていたものが、気がつけば当たり前の夏の光景になっていた▼今では8月の第一土曜日を心待ちにする自分がいる。半世紀の月日が、この街と人と祭りをひとつに育ててきたのだと思うと、感慨深いものがある。これから先どんなふうにか受け継がれていくのか楽しみだ。



再発見!! 「新しく開かれた村」でも歴史は古い 今井地区

まつもと地名がたり

13



松本市の西南に位置し、塩尻市・朝日村・山形村に接しています。空港や道の駅が観光の拠点です。かつて水不足の村が大規模灌漑により、市内有数の大農耕地域となっています。

「今」は新しい、「井」は留まる意味で、人が留まるところ、すなわち村を表しています。今井は「新しく開かれた村」という意味です。

木曾義仲四天王のひとり、今井四郎兼平が、開墾して水を引き、古刹の宝輪寺を中興したと伝わる平安末期(1100年代後半)には今井が使われていたと思われま

長享2(1488)年、諏訪下社春秋之宮造管之次第若宮之御柱一本(蘆田、古祖父、

續麻神社

天棚機姫命が、大雨により鉢盛山麓から流されて、鎖川の脇にあった藤の木の上につかまり、今井の地にながって、機織りを伝えた、との伝説もあります。續麻神社跡付近は藤の木と呼ばれました。



上今井 續麻・兼平神社 (国の登録有形文化財)

字名の由来

中村：今井村の中心だから。堂村：十王堂があることからよばれた。

古池：天保8(1837)年、塩原伊予之丞が開拓に従事。かつて「古見・大池原」という原野であったことから「古池」とよばれた。

野口：安政3(1856)年、塩原伊予之丞が自らの土地を神林の豪農、野口庄三郎に譲渡し開拓の支援を得たことから「野口」とよばれた。

明治7(1874)年、上今井村(6耕地)・下今井村(4耕地)・古池新田村・野口新田村が合併して今井村となりました。

戦後、西原・北今井・公園西を加えて現在の15町会となっています。

松本平の野鳥たち

エゾビタキ (2018年10月松本市アルプス公園 写真提供:信州野鳥の会)

前回紹介した「コサメビタキ」や「サメビタキ」と、色彩・体型・クリツとした目、行動などがよく似ている。この3種の中では胸の縦斑がはっきりしているのが特徴。日本では繁殖せず、主に秋に通過する姿を見かける旅鳥。低山地、平地の林に渡来する。

まつもと散歩

季節がめぐる
数えきれない夢が
あなたの物語をつくっていく

(撮影：2025.8.29 あがたの森公園)